

勝海舟顕彰会

ご挨拶

会長 廣田 健史



勝海舟の生誕180周年の平成15年7月21日、当時新聞のアンケートで尤も海舟に相応しいという「海の日」に、墨田区役所横のうるおい広場に「勝海舟の銅像を建てる会」の音頭で、海舟像が建てられ除幕式を執り行いました。

平成11年日本大学名誉教授・鶴澤義行先生の講演に端を発したこの市民運動は4年の歳月を経て、成就の運びとなりました。咸臨丸でアメリカに渡り多くの事物に触れ、その結果近代日本の教育に大きな影響を与え、現在日本が先進国家の一員であることも海舟の功績の一つでありましょう。また海舟は西郷隆盛との談判によって英仏の軍事介入を防ぎ、新政府軍の江戸城総攻撃を中止せしめ、無血開城を取り決め、江戸市民を戦禍から救ったことが特記され、東京が近代都市の首都として機能し得たのは、江戸城と江戸の町が戦火を被らずに新政府に引き継がれたからであり、東京発展の源流は実にこの無血開城にあったといえます。

対を成した西郷の銅像は地元鹿児島に数体、この地 東京にもあり名所となっております。それに対し勝海舟の銅像は本所能勢妙見に小さな胸像があるくらいで、江戸・東京を命がけで守った英雄の銅像がないというのはおかしい話ではないか、という議論があって何度か海舟像建設の話が起りましたが、戦後の資金難等様々な理由で断念されてきましたが、生誕180年を期に建てようと色々な障害を乗り越え、鶴澤義行先生のご尽力と各界皆様のご協力を経て、海舟像が建ち上がりました。銅像は海舟の生誕の地であり、24年間暮らした墨田区に寄贈され、上野の西郷像と好一对の史的名所となり、人々に平和と勇気、精神と活力のすばらしさを発進する基地として機能し、文化の発展に寄与するものと確信しております。「勝海舟の銅像を建てる会」の解散に際して、会より顕彰会の設立をと事後を託されました。

皆様の善意で建てた銅像と海舟翁の精神を継続させてゆくには、末永く銅像に対して顕彰を行い、維持・管理の必要から「勝海舟の銅像を建てる会」の副会長を仰せつかった私が、各階層の仲間と呼びかけ、先ずは有志10名の世話人により「顕彰する会」を起ちあげる運びとなりました。地元墨田区が生んだこの偉人の精神を引き継ぎ、伝えて行くためにも皆様方のご協力・ご指導を賜り、この会を支えていただきたいと存じますので宜しくお願い申し上げます。

Japanese only

このホームページは「勝海舟顕彰会」の活動を広く皆さんにお伝えするために、有志によって運営されています。

後援 向島ロータリークラブ/墨田桜門会